

NPO法人 自立支援事業所 サンレジデンス

SUN通信 第9号

2019. 8. 1 発行

NPO法人 自立支援事業所
サンレジデンス

〒011-0023

札幌市北区北23条西5丁目

1-18 D i o23ビル3F

TEL 011-746-8889

FAX 011-299-3107

サッポロビール園にて

恒例行事として年に2回行ってきたSUNパークゴルフ大会を、諸事情により、今年度からは1度の開催とすることになりました。令和元年7月4日、9回目を迎えた大会には、(株)アパートナー本社から照井会長と堀口専務、また日頃から私たちの活動を支えてくださる賛助会員の皆様にも参加して頂きました。この日は雲が多く、少し雨の心配もあったのですが、無事に開催することができ、スタッフもほっと胸を撫で下ろしました。来年は第10回目の記念大会。もっと規模の大きなものになりたいと考えています。



そして夜にはこれもまた恒例、サッポロビール園にて懇親会を開き、ビールとジンギスカンに舌鼓を打ちました。北海道では、人が集まれば何かとジンギスカンを食べながらお酒を飲む風習があるのですが、ビール園にまで行って食べる機会はあまりありません。そのためか、この日は皆さん、もの凄い勢いで平らげていました。次々と運ばれてくる羊肉を、何の躊躇もなく焼き進め、それを口中に放り込んでビールで流し込みます。そんな様子を見ながら私は、皆さん本当にお元気だなあと、感嘆してしまうほどでした。東京本社から来られた方々はもちろん、日頃なかなかお会いすることの少ない支援者の方々と、こうして年に一度、お互いに顔を合わせな



ビールとジンギスカンで乾杯です

がら笑顔で語り合える機会は、単なる飲食会の枠を超えて、私たちサンレジデンスの活動についてより深い関心を持って頂ける、とても重要な年間行事の一つです。今後更に、多くの方が参加して頂けるよう、スタッフ全員で、更なる工夫とより丁寧なものにするべく、この行事を大切にしていきたいと思っています。

社会を明るくする運動

法務省が主唱するこの「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止はもとより、罪を犯した人の立ち直りを、一部の人がだけではなく、地域の全ての人たちがそれぞれの立場で関わり、支えていくことを目的とした全国的な運動で、今年で第69回目を迎えました。



私たちサンレジデンスの活動も、まさにこれとリンクします。刑務所から出所するが帰るところがないという人を何人も支援してきました。また犯罪をおこさずとも、様々な理由で困窮し、ホームレス状態になってしまった人が、RE:スタートするための居場所作りも続けてきました。再生に成功した人がいれば、残念ながらそうでない人もいます。それでもやはり、立ち直りを決意した

人が、再び窮地に追い込まれないための防波堤として、私たちは存在し続けなければなりません。

躓いても立ち上がれる社会、まさにそれが理想です。しかし、困窮者支援活動に携わる者としての思いを正直に言えば、今の日本社会はそれが出来ない、いや、むしろそれを許さない体制になっている気がしてなりません。

昨今、お笑い芸人の闇営業問題が話題になっています。知らなかったとはいえ、反社会勢力から金銭を授受したことは、明らかに失敗です。でもそれ以上に、当事者にやり直しの機会すら与えようとしなかった会社側の姿勢は、実に無責任であり、罪が重いと思うのです。ニュースやワイドショー等でこの話題に触れる時、私は、まるで日本社会の縮図を見せられているような気持ちになります。

失敗をしない人間なんていません。誰もが失敗を繰り返し、それを乗り越えて生きています。人はやり直す能力のある生き物だということは、誰もが分かっているはずで、敗

戦後、焼け野原になったこの国を、世界有数の経済大国にまで成長させることの出来た日本国民なら、尚更それが分かっているはずと私は思っています。それなのに何故今、こんなにも人に寄り添い、支えあうことの少ない世の中になったのでしょうか。

生きにくい世の中に必要なもの

サンレジデンスに来て間もなく7年になるYさんは70歳の男性です。彼は生活保護を申請した後、大手スーパーの工場でシルバー雇用として働き始め、いわゆる半就労・半福祉の形で生活していました。今年に入り、その働き振りが会社に認められ、収入がアップし、札幌市の生活保護水準金額を超えたため、生活保護を廃止しました。一見すると、良かったと思われる事案ですが、ここには危険も潜んでいます。彼は70歳の高齢者です。更なる収入アップは現実的に難しいことでしょう。また、今後の医療費は自己負担になります。万が一この先、病気や怪我等で通院、あるいは入院となったとき、その医療費が負担となってまたしても困窮に陥ってしまう。つまり、生活保護を受けていた時よりも危うい状態になったとも言えます。

これは珍しいケースではありません。この国では今、このような綱渡りの生活を余儀なくされている人たちが溢れているのです。

とても偉そうなことを言うようですが、私は今の日本国民に最も欠けているのは「他者に対する観察力」だと思っています。「他人の振り見て我が振り直せ」という言葉がありますが、社会通念というものは、他者を観察することによってはじめて芽生えるものです。現社会、自分以外への無関心が蔓延しているように思えます。他者への無関心は、社会通念の欠落に繋がります。その先には、各個人それぞれの中にだけ通用する論理が生まれ、利己主義で幼稚な事件や犯罪が頻発します。そしてますます他者との関係性が希薄になる、今まさにそんな時代だと思うのです。

ある一定の常識や見解、あるいは習慣を人々が共有できなくなれば、国家が成り立たなくなるのは言うまでもありません。全ての国民に同じ価値観を持つと言っているのではなく、社会通念を理解したうえで、一人ひとりが個性を発揮できる、そんな世の中になってほしいのです。

通勤・通学の電車の中、すぐにスマホを覗き込むのではなく、今この同じ電車内にどんな人たちが乗っているのか観察してほしい、また学校や職場等の集合体はもちろん、自分が住む地域の中で、自分はどんな立場にいるのか、どんな関わりを持っているのか確認もしてほしい、私は今そんなことを考えます。あたりまえすぎることですが、人が互いに興味を持ち、観察し、繋がりを実感することが大事です。それが少しずつでも広がっていけば、やがて上記したYさんのようなケースを地域の中で発見し、具体的な問題として地域

の人たちで共有できる日が来るかもしれません。そしてそこにほんの少しの「寛容さ」が加わることで、社会を明るくする最大の推進力になるのではないのでしょうか。

皆様をお願い申し上げます！！

NPO法人サンレジデンスとして続けてきた自立支援事業活動は、現在第5期に入っています。この5年の間に私たちが受け入れてきた人たちは111名、入居にまで至らなかったケースも含めると、相談者の数は軽く200名を超えます。連携して頂いている他団体の協力もあり、そのほとんどの人が居場所を見つけることが出来ました。しかし、その何十倍もの人が、誰にも相談することが出来ずに今も苦しんでいます。明日からは食べることも出来ないし、眠る場所もない、そんな人が後を立たない現状の中、私たちはこの活動を行っていますが、厳しい事業経営が続いているのも事実です。



2018年10月から始まった第5期の活動収支は、2019年6月末までの9ヶ月間で、およそ80万円の赤字を計上しており、活動資金が不足している状況になっています。

全国でも珍しい、民間企業の中から生まれたこの困窮者・自立支援活動を継続していくために、どうか私たちの活動にご参加、ご協力ください。皆様からの温かいご支援は、社会の中でもがき苦しんでいても、立ち直ろうとする人たちを支える力になります。私たちはとても小さな存在ですが、再出発が実現できる明るい社会の創造に向けて、一人でも多くの方とその思いを共有できれば、スタッフ一同、これほど心強いことはありません。

皆様、どうかよろしくようお願い申し上げます。

NPO法人 自立支援事業所 サンレジデンス
松下 和広

●ご送金先
北洋銀行 北24条支店 普通口座
口座番号 4232062
口座名 NPO法人 自立支援事業所
サンレジデンス

※なお、振り込み以外の方法や物品によるご協力をご希望の方は、下記番号にお問い合わせください。
011-746-8889